

水産物の市況について(令和3年6月及び令和3年7月)

—東京都中央卸売市場における令和3年6月(令和3年5月21日～令和3年6月20日集計)の市況と、
令和3年7月の市況見通し(前月との比較)—

I 令和3年6月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品及び加工品の合計)は、前月よりやや増加し、前年同月比より増加しました。卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)は、前月からやや弱含みで推移し、前年同月比ではやや強含みに推移しました。

II 令和3年7月の主要品目の市況見通し

「まいわし(生鮮品)」

各地で引き続き好調な水揚げが続くと予想され、今後、東京へのは入荷量は横ばい、卸売価格は横ばいと見込まれます。

「さけ類(塩蔵品・冷凍品)」

東京へのは入荷量は、引き続き銀ざけ主体に横ばい、卸売価格はチリ側の輸出単価が上がっているため、やや強含みで推移すると見込まれます。

「さば(生鮮品)」

まき網漁は低調な状態が続くと予想されることから、東京へのは入荷量は横ばい、卸売価格は横ばいと見込まれます。

「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

今後も、道南～北陸の水揚げは低調で推移するとみられるものの、三陸～道東等の太平洋側の漁期が始まることから、東京へのは入荷量はやや増加し、小型サイズが主体であることから卸売価格はやや弱含みとなると見込まれます。

「あじ(生鮮品)」

盛漁期・需要期を迎えたものの、水揚げが低調なことから、東京へのは入荷量は横ばい、卸売価格はやや強含むと見込まれます。

「まぐろ(冷凍品)」

外食需要が低調な状況が続くと予想されることから、東京へのは入荷量は横ばい、卸売価格は全体では横ばいと見込まれます。

「かつお(生鮮品)」

一本釣りはびんなが主体からかつお主体の漁に切り替わることから、東京へのは入荷量はやや増加し、卸売価格は入荷が潤沢なことからやや弱含むと見込まれます。

凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	6月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
3年	31	989	29	1,026	33	1,044
前年	28	952	28	898	27	920

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

2:入荷量は生鮮品、冷凍品及び加工品の合計。

主 要 品 目 の 価 格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	6月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし(生鮮品)	273	81	84	84
さけ類(平均)	999	112	125	105
(ぎんざけ塩蔵品)	862	101	110	90
(あきさけ塩蔵品)	607	99	113	89
(べにざけ塩蔵品)	1,291	97	107	111
(さけ類冷凍品)	1,013	114	132	111
さば(生鮮品)	336	99	96	89
するめいか(平均)	723	74	124	113
(生鮮品)	708	72	125	117
(冷凍品)	959	100	95	123
あじ(生鮮品)	551	110	85	96
まぐろ(冷凍品)	1,588	109	132	108
(めばち冷凍品)	1,121	106	130	104
(きはだ冷凍品)	1,148	106	147	120
(くろまぐろ冷凍品)	2,743	102	102	105
(みなみまぐろ冷凍品)	1,797	100	102	88
かつお(生鮮品)	385	87	69	67

注1:品目により、市場で水産物の大きさ等が異なることから、主要な水産物の価格データを掲載。

注2:6月の価格は1～20日までの速報値を元に算出。平年とは平成28年～令和2年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ及びアトランティックサーモンが含まれる。

注4:まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ及びみなみまぐろが含まれる。

問合せ先:水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111

内線 6618 賛田、小山、小林

直通 03-3591-5613